

知基第 550号  
平成24年9月3日

防衛大臣  
森本 敏 殿

沖縄県知事 仲井眞 弘多

モロッコにおけるMV-22墜落事故に関する分析評価報告書  
への質問について

みだしの分析評価報告書について、別紙のとおり質問させていただきます。御回答及び御説明をよろしくお願い申し上げます。

【別紙】

モロッコにおけるMV-22墜落事故に関する分析評価報告書についての質問

(航空機の機能について)

問1 秒速8から14メートルの風は、日常的な風速であると考えますが、その強さの追い風で墜落事故につながるのか政府の見解を御説明ください。

問2 コンピュータ制御によって制限されない状態で機速40ノット以下においてナセル角度75度以下に遷移させたことが事故要因の一つとされている。よって事故を回避するためにコンピュータ制御の改善が必要であると考えますが、政府の見解を御説明ください。

(再発防止策について)

問3 結論の(2)その他の要因として機長の指揮監督が不十分であった可能性などが指摘されているが、このケースにおける機長の適切な指揮監督とはどのようなものか御説明ください。

問4 米側の調査結果には、「飛行マニュアル内に、追い風の中での離陸から巡航への移行に関する参照事項はほとんど見つけられなかった」と記載されているが、日本側はこの点についてどのように分析されているのか御説明ください。

問5 飛行マニュアルで「回避」、「禁止」すべきとされている行為と、その行為がなされなかった場合の対処策を併せて御説明ください。

問6 分析評価報告書で提案されている「マニュアルにおける記載の明確化」の内容と改定の時期を御説明ください。

問7 分析評価報告書で示された「操縦士及び関係者に対する教育の徹底」の時期と具体的な教育内容を御説明ください。

問8 MV-22の運用上の必要条件となる操縦士の経験飛行時間と、VMM-265部隊所属隊員のMV-22の経験飛行時間がこれをクリアしているかについて御説明ください。また、必要条件としている経験飛行時間について政府としてこれで充分であると考えているのか併せて御説明ください。